

令和5年度教育委員会の活動状況に関する

点検・評価報告書

睦沢町教育委員会

令和6年7月

睦沢町教育委員会委員名簿

(令和6年7月1日現在)

職名	氏名
教育長	鵜澤 智
教育長職務代理者	佐藤 秀文
教育委員	久我 哲也
教育委員	藤原 雪枝
教育委員	飯塚 史美代

睦沢町教育委員会行政評価委員名簿

職名	氏名	備考
委員	岡本 哲夫	茂原市立二宮小学校長
委員	渡邊 賢司	睦沢町PTA連絡協議会長

1. 教育委員会の点検・評価

(1) 根拠法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 評価重点施策

第2期睦沢町教育振興基本計画は、基本理念を「郷土を誇りに思う心と人間力・社会力の育成および生涯にわたる幅広い学びの推進」とし、3つの政策を基に6つの基本目標と23項目の重点施策を掲げています。点検及び評価は、23項目の重点施策を対象といたしました。

(3) 点検・評価の方法

教育委員会で23項目の重点施策の実績値により自己評価した後、2名の評価委員から外部評価をいただき、その結果を基に施策・事業内容の成果や課題を明らかにし、今後の対応を示します。評価については「4：十分達成、3：概ね達成、2：やや不十分、1：不十分」の4段階にて、施策指標を各々について評価いたしました。

2. 教育委員会の活動

(1) 総合教育会議の開催状況

総合教育会議は、町長と教育委員会が、円滑に意思疎通を図り、教育の課題及び教育目標を共有し、効果的な教育行政の推進に資するため、本年度2回の会議を開催いたしました。

以下その概要について表記いたします。

開催	出席人員	開催月日	会議内容	出席職員
第1回	人 6	7月27日	・睦沢町教育振興基本計画の進行管理について ・その他	人 5
第2回	5	11月30日	・令和6年度教育重要施策について ・その他	6

(2) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、原則公開により毎月1回の定例会を開催いたしました。

開催状況は、定例会議を12回開催いたしました。

以下その概要について表記いたします。

会議名	出席人員	開催月日	会議内容	出席職員
定例教育委員会会議	4	4月20日	・教科用図書長生採択地区協議会委員の選任について ・睦沢町家庭教育支援チーム員の委嘱について ・睦沢町学校運営協議会委員の委嘱について ・睦沢町学校運営協議会の設置及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について ・睦沢町まっ白い広場の後援について ・報告事項	2
定例教育委員会会議	5	5月18日	・睦沢町社会教育委員の委嘱について ・睦沢町地域教育協議会委員の委嘱について ・むつざわアフタースクール運営委員の委嘱について ・睦沢町教育支援委員会委員の委嘱について ・睦沢町文化財審議会委員の委嘱について ・報告事項	2

定例教育 委員会会議	4	6月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・睦沢町教育委員会行政評価委員の委嘱について ・睦沢町地域クラブ活動推進協議会規約の制定について ・睦沢町地域クラブ活動推進協議会委員の委嘱について ・第55回千葉県算数・数学教育研究大会長生大会の後援について ・睦沢町町制施行40周年記念「親子防災キャンプ」の後援について ・納涼盆踊り大会の協賛について ・～きれいなお魚とあそべる～もばらに水族館がやってきた!の協賛について ・第18回夏休みエコ絵画コンクールの後援について ・平和といのちを考える会の後援について ・日向野菜生&村上敏明&中村敏彦3名の音楽家によるジョイントコンサートの後援について ・報告事項 	4
定例教育 委員会会議	5	7月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期睦沢町教育振興基本計画策定委員会要綱の制定について ・第3期睦沢町教育振興基本計画策定委員会委員の委嘱について ・令和4年度教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について ・令和6年度使用教科用図書の採択について ・令和5年度指導者養成研修会の後援について ・報告事項 	4
定例教育 委員会会議	4	8月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定による教育委員会の意見聴取について(令和5年度睦沢町一般会計補正予算[第3号]) ・睦沢町立幼保連携型認定こども園条例施行規則の一部を改正する規則の制定について ・長生地方特別支援教育連盟児童生徒作品の後援について ・第56回長生地方特別支援教育推進大会の後援について ・長生郡市小中学校科学作品展の後援について ・瑞沢川に鮭の稚魚を放流する会の後援について ・睦沢町町制施行40周年記念事業kitみずさわ音楽文化祭の後援について ・千葉県指定無形民俗文化財上総十二社祭りの後援について 	3
定例教育 委員会会議	5	9月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・睦沢町社会教育委員の委嘱について ・睦沢町地域教育協議会委員の委嘱について ・むつざわアフタースクール運営委員の委嘱について ・町制施行40周年記念事業「魅力発見むつざわ元気ウオーク」の後援について ・第17回睦沢町伝統芸能発表会の共催について 	4

定例教育 委員会会議	5	10月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度(第46回)教育講演会の共催について ・千葉県キャリア教育副教材「発見たんけん千葉県」の発行及びキャリア教育イベント開催の後援について ・報告事項 	4
定例教育 委員会会議	4	11月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定による教育委員会の意見聴取について(令和5年度睦沢町一般会計補正予算[第5号]) ・令和6年度睦沢町教育予算に関する重要施策について 	4
定例教育 委員会会議	5	12月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・睦沢町立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について ・「睦沢約2回目ハタチのつどい」の後援について ・報告事項 	4
定例教育 委員会会議	5	1月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・睦沢町立幼保連携型認定こども園条例施行規則の一部を改正する規則の制定について ・睦沢町教育委員会表彰者及び感謝状贈呈者について ・「日本の歌・オペラアリア世界の歌コンサート」の後援について 	4
定例教育 委員会会議	5	2月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定による教育委員会の意見聴取について(令和5年度睦沢町一般会計補正予算[第7号]) ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定による教育委員会の意見聴取について(令和6年度睦沢町一般会計予算) ・睦沢町要保護及び準要保護児童生徒援助費支給要綱の一部を改正する告示について ・睦沢町英語検定料補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・オペラガラコンサート&オペラ「道化師」ハイライトの後援について ・報告事項 	3
定例教育 委員会会議	3	3月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・睦沢町立学校職員服務規程の一部を改正する訓令について ・令和6年度教科用図書長生採択地区協議会規約の制定の承認について ・睦沢町地域学校協働活動推進員の委嘱について ・睦沢町スポーツ推進委員の委嘱について ・睦沢町家庭教育支援チーム員の委嘱について ・睦和会チャリティーフェスティバルの後援について 	3

以上、令和5年度中に教育委員会会議にて審議した議案は58件、その他事項を報告いたしました。

(3) 教育委員会協議会の開催状況

調査、または研究を要するものがあると認め、教育委員会協議会を1回開催いたしました。

(4) その他の活動状況

教育委員会会議の他、各種会議や関係各種行事へ参加いたしました。

各種会議・関係行事名	時期	概要
・小中学校・園訪問	11月	・睦沢小学校 ・睦沢中学校 ・睦沢こども園
・成人式～二十歳の集い～	1月	
・教育委員会表彰式	2月	・表彰者5名、感謝状贈呈者1名

3. 総合評価

令和5年度は「第2期睦沢町教育振興基本計画」の5か年計画の4年目となり、来期に向けた計画の準備を検討しつつ、引き続き第2期の基本目標、及び重点施策に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、コロナ禍以前の生活に徐々に戻りつつあることで昨年度より評価が上がっている項目があるものの、その一方では十分な感染症対策を念頭に置いた中での事業実施など少なからず影響を受けた施策もありました。

【重点施策1 一人一人の基礎学力の向上を図る教育の推進】では、この数値の学年単位毎の比較は児童生徒が1学年替わるため、数値の増減に差が出ることもあります。各テストでは県平均を下回った児童生徒の割合が増えた部分があることや学年によって学力の差が生じることなどこれには様々な要因があると思います。引き続き教育課程の着実な実施により来期に期待をします。

【重点施策1 1 体力の向上と学校体育活動の推進】では、新体力テストの得点について低下が見られます。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したとはいえ、コロナ禍が続いたことで学校内外において運動の機会が減ったことの影響がまだ残るものと考えられます。しかしながら、現在は、活動を再開していますので、新たな取り組みを検討するなどし、目標を達成するように努力してまいります。

【重点施策13 不登校児童・生徒への支援の充実】では、不登校児童・生徒の発生があり、ゼロではないため、引き続き小学校に不登校児童の居場所をつくり、学級に復帰するための支援を行っています。これらの解決には日数がかかることもあることから、関係機関と連携したうえで、児童にとってより良い方向に向かうよう努力をしております。

【重点施策20 家庭・地域と連携・協働した教育の推進】では、コミュニティスクールを取り入れた「地域とともにある学校」を目指す取り組みを推進しており、学校の課題に対して様々な地域の力で支援しています。学校支援活動やボランティア活動も含め地域と連携・協働して実施するプログラムを増やすなど教育活動に地域の人材や素材を積極的に取り入れてまいります。

今後も適宜、見直しを行いながら進行管理を行い、教育の現状を的確に把握した中で、基本目標、及び重点施策を着実に取り組み、睦沢教育の基本理念の実現を図ってまいります。

また、令和6年度は、第2期睦沢町教育振興基本計画5か年計画の最終年度となります。国や千葉県、社会の動向も踏まえたうえで、第2期計画のもと進めてきた取り組みを継承・発展させ、今後5年間の新たな指針となる第3期睦沢町教育振興基本計画の策定に向けた検討を重ねてまいります。

【基本目標Ⅰ】 園小中一貫教育カリキュラムの実施と確かな学力・自立する力の育成

重点施策	施策指標	基準	単位	R1 現状	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標	担当	備考
1 一人一人の基礎学力の向上を図る教育の推進	全国学力・学習状況調査において県平均正答率を上回る正答率となった教科毎の児童生徒の割合	小学校6年生	%	国語65.9 算数57.4	-	国語49.0 算数49.0	国語50.0 算数45.5	国語43.2 算数43.2	国語70 算数61	小学校	『全国学力・学習状況調査』において、県平均正答率を上回った教科毎(国語・算数・数学・英語)の児童生徒の割合(小数点以下第1位まで) ※R2は調査未実施のためデータなし
		中学校3年生	%	国語53.4 数学48.4 英語41.9	-	国語35.7 数学46.3 英語なし	国語56.8 数学61.4 英語なし	国語48.8 数学39.5 英語30.2	国語60 数学60 英語60	中学校	
	千葉県標準学力検査において小学校及び中学校の全ての学年で、県平均正答率を上回る正答率となった教科ごとの児童生徒の割合	小学校1年生	%	2/2	国語52.3 算数65.9	国語62.5 算数58.3	国語47.8 算数43.5	国語55.9 算数64.7	70	小学校	『千葉県標準学力検査』において、小・中学校の全学年で、県平均正答率を上回った教科ごとの児童生徒数の割合(小数点以下第1位まで) 小1～2 国語・算数 小3～4 国語・社会・算数・理科 小5～6 国語・社会・算数・理科・英語 中1～3 国語・社会・数学・理科・英語 ※R1現状はH30末の県平均を上回った教科の数(小5・小6は英語を除く)
		小学校2年生	%	0/2	国語57.1 算数69.6	国語61.4 算数70.5	国語47.9 算数62.5	国語46.2 算数48.7			
		小学校3年生	%	3/4	国語53.5 社会72.1 算数58.1 理科65.1	国語50.0 社会66.1 算数66.1 理科50.0	国語60.9 社会65.2 算数56.5 理科76.1	国語77.3 社会63.6 算数56.8 理科75.0			
		小学校4年生	%	4/4	国語47.8 社会65.2 算数45.7 理科67.4	国語47.7 社会54.5 算数50.0 理科43.2	国語49.1 社会50.9 算数47.3 理科50.9	国語51.1 社会57.8 算数44.4 理科62.2			
		小学校5年生	%	4/4	国語70.0 社会82.0 算数68.0 理科78.0 英語94.0	国語68.9 社会53.3 算数51.1 理科51.1 英語57.8	国語63.6 社会50.0 算数52.3 理科65.9 英語56.8	国語68.6 社会72.5 算数54.9 理科82.4 英語72.5			
		小学校6年生	%	2/4	国語47.8 社会87.0 算数67.4 理科80.4 英語76.1	国語59.2 社会61.2 算数61.2 理科67.3 英語85.7	国語64.4 社会55.6 算数40.0 理科60.0 英語84.4	国語40.8 社会51.0 算数44.9 理科55.1 英語57.1			
		中学校1年生	%	0/5	国語64.4 社会48.8 数学71.1 理科64.4 英語82.2	国語58.7 社会56.5 数学63.0 理科58.7 英語43.5	国語50.0 社会60.4 数学72.9 理科64.5 英語62.5	国語62.1 社会45.9 数学40.5 理科43.2 英語27.0			
		中学校2年生	%	1/5	国語56.0 社会53.6 数学63.4 理科56.0 英語58.5	国語57.8 社会71.1 数学64.4 理科64.4 英語71.1	国語43.2 社会38.6 数学43.2 理科54.5 英語45.5	国語58.6 社会45.6 数学73.9 理科63.0 英語45.6			
		中学校3年生	%	2/5	国語56.7 社会54.0 数学54.0 理科54.0 英語56.7	国語41.9 社会44.2 数学53.5 理科58.1 英語41.9	国語64.4 社会55.6 数学55.6 理科51.1 英語62.2	国語47.7 社会47.7 数学47.7 理科40.9 英語45.4			

【基本目標Ⅰ】 園小中一貫教育カリキュラムの実施と確かな学力・自立する力の育成

重点施策	施策指標	基準	単位	R1 現状	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標	担当	備考
2 自ら学び、ともに学び、生きて働く学力の育成	「主体的・対話的で深い学び」に関する研修を校内または校外にて受講または授業研究を行った職員数	各学校	人	小中計 37	33	小:21 中:16	小:20 中:14	小:21 中:15	全て	小学校 中学校	県費負担職員のみ(事務職、栄養職員を除く)
	児童生徒がお互いの関わり合いの中で共通点や相違点に気づきながら自らの考えを深め主体的に学びに参加しようとする人数の割合	小学校	人	91.4	90	91	90	87	100	小学校	『学校評価アンケート』において、「授業中や休み時間に友だちの考えを大切にしながら、自分の考えを伝えようとしている。」の問いの肯定割合
		中学校	人	-	-	78	93	95	100	中学校	『学校評価アンケート』において、「先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができている。」の問いの肯定割合
3 伝統文化を尊重し、郷土への愛情と誇りを持ち、グローバル化に対応する教育の推進	地域の行事に参加していると回答した児童生徒の割合	小学校6年生	%	81.9	-	63.3	58.1	66.7	85.9	小学校	『全国学力・学習状況調査』の『児童質問用紙』の「今住んでいる地域の行事に参加している」の問いの「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合
		中学校3年生	%	67.4	-	50.0	43.1	58.8	75.0	中学校	『全国学力・学習状況調査』の『生徒質問用紙』の「今住んでいる地域の行事に参加している」の問いの「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合
	「英検」合格者の割合	中学校3年生 3級以上	%	30	33	43.2	50.0	38.6	50	中学校	(公財)日本英語検定協会の『英検』の3級(中学卒業程度)以上の合格者の割合(全国平均は40%台前半) 級別合格者 5級:1人、4級:2人、3級:11人、準2級以上3人
4 キャリア教育・職業教育の推進	小学校の職場見学、中学校の職場体験等後キャリア教育実施後の児童生徒の満足度	小学校	%	100	未実施	未実施	100.0	100.0	100	小学校	『児童生徒の意識調査』により、職場見学・体験等キャリア教育実施後の満足度の割合
		中学校	%	90	未実施	100.0	100.0	100.0	100	中学校	
5 技術革新に対応する教育の推進	授業中にICTを活用して指導する能力がある教員の割合	小学校	%	90.3	100	100.0	100.0	100.0	100	小学校	文部科学省の『学校における教育の情報化の実態等に関する調査』において、授業にICTを活用することが「わりができる」「ややできる」と回答した教員の割合
		中学校	%	85	75	100.0	100.0	100.0	100	中学校	
6 人格形成の基礎を培う幼児教育、保育の充実	「アプローチャリキュラム」などを活用し、保育計画・指導計画の工夫している園・学校の数	園、小学校	園、校	実施 (全て)	2 (全て)	2 (全て)	2 (全て)	2 (全て)	実施 (全て)	こども園 小学校	『教員に対するアンケート調査』において、幼児期の教育と小学校教育の接続のために「接続期のプログラム」などを活用し保育計画や指導計画を工夫・改善して実施していると回答した園・学校の数

【基本目標Ⅱ】 郷土を愛し、豊かな心と健やかな体の育成

重点施策	施策指標	基準	単位	R1 現状	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標	担当	備考
7 豊かな心を育む教育の推進	『陸沢小スタンダード』の学習スタンダードを身に付けている項目数	小学校6年生	項目	10項目	6項目	10項目	10項目	11項目	全項目	小学校	『陸沢小スタンダード』の学習スタンダードで、11項目のうち、小学校6年生の8割以上の児童が身に付けている項目の数
	『陸沢小スタンダード』の生活スタンダードを身に付けている項目数	小学校6年生	項目	2項目	3項目	5項目	5項目	6項目	全項目	小学校	『陸沢小スタンダード』の生活スタンダードで、6項目のうち、小学校6年生の8割以上の児童が身に付けている項目の数
8 いじめ防止対策の推進と生徒指導の充実	いじめの解消率	園、各学校	%	100	園:なし 小:47 中:100	園:なし 小:99.4 中:71.4	園:なし 小:96.3 中:75.0	園:なし 小:71.2 中:100.0	100	こども園 小学校 中学校	いじめが認知され、年度内に解消された件数の割合 ※解消されていない件数がある場合の件数:34件
9 人権を尊重した教育の推進	自他の人権を認める意識の割合	小学校	%	97.8	95	95	95	97	100	小学校	『学校評価アンケート』において、「私は、友達と仲良く過ごしている。」の問いの肯定割合
		中学校	%	93	94	96	96	99	100	中学校	『学校評価アンケート』において、「私は、友達と仲良く過ごしている。」の問いの肯定割合
10 健康(幸)の保持増進	毎日朝食を食べている児童生徒の割合	小学校6年生	%	92	100	100	100	100.0	100	小学校	『早寝早起き朝ご飯』推進のための調査において、朝ご飯を食べたと回答した児童生徒の割合
		中学校3年生	%	93	92	95	100	93.0	96	中学校	
	毎日健康に気を付けて生活している児童生徒の割合	小学校6年生	%	88.3	-	82	77	80	100	小学校	『学校評価アンケート』において、「私は、早寝早起きをし、規則正しい生活をしている。」の問いの肯定割合
		中学校3年生	%	87	83	62	72	71	96	中学校	『学校評価アンケート』において、「私は、早寝早起きをし、規則正しい生活をしている。」の問いの肯定割合
11 体力の向上と学校体育活動の推進	小・中学校における新体力テストの得点	小学校3年生	点	44.8	-	46.0	44.6	45.3	48.8	小学校	『新体力テスト』の得点化したものの合計の男女平均 ※R2はテスト未実施のためデータなし
		小学校6年生	点	64.2	-	61.0	60.2	45.7	68.2	小学校	
		中学校3年生	点	49.3	-	46.3	43.0	46.0	53	中学校	

【基本目標Ⅲ】 多様なニーズに対応した教育の推進

重点施策	施策指標	基準	単位	R1 現状	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標	担当	備考
12 障がいのある子どもへの支援・指導の充実	管理職の合理的配慮を考慮した支援体制づくりへの取組状況	各学校	%	100	100	100.0	100.0	100.0	100	小学校 中学校	『合理的配慮を考慮した支援体制づくり』に対し、「十分満足」または「満足」と回答した管理職の割合(%) (4つの観点「十分満足」「満足」「やや満足」「不満足」)
	園・校内特別支援委員会が開催された回数	園、各学校	回	3	園:3 小:4 中:3	園:3 小:4 中:4	園:3 小:4 中:4	園:2 小:4 中:4	6以上	こども園 小学校 中学校	園・校内特別支援委員会を開催した回数
13 不登校児童・生徒への支援の充実	不登校(年間30日以上)児童生徒の数及び割合	小学校	人	6	9	4	3	5	0	小学校	年間累計30日以上欠席した児童生徒の人数と割合(病気や怪我、経済的・それに準ずる理由によるものを除く)
			%	2.1	3.0	1.3	1.1	1.9	0		
		中学校	人	3	4	10	8	8	0	中学校	
			%	2.0	3.0	7.1	5.3	5.4	0		
14 一人一人の状況に応じた支援の充実	放課後子供教室(アフタースクール)等に参加する児童生徒の割合	小学校4年生	%	36	8.3	15.9	26.3	11.1	40	生涯学習班	経済的や家庭的に困難を抱える家庭等への支援や学習及び生活習慣の定着のために児童生徒を対象に行うアフタースクール及びむつざわアカデミーへの参加者の割合
		小学校5年生	%	13	22.0	19.1	11.4	10.7	40		
		小学校6年生	%	20	4.3	22.0	17.4	9.0	40		
		中学校1年生	%	6	22.0	12.8	6.0	7.1	20		
		中学校2年生	%	6	2.2	10.9	2.1	1.0	20		
		中学校3年生	%	1	5.4	6.7	8.6	8.6	20		

【基本目標Ⅴ】 家庭・地域教育力の向上

重点施策	施策指標	基準	単位	R1 現状	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標	担当	備考
19 家庭教育支援体制の充実	小・中学校のアンケート調査において「家の人と学校での出来事について話をしている」と答えた児童生徒の割合	小学校6年生	%	74.5	-	-	-	-	85.0	小学校	『全国学力・学習状況調査』の『児童生徒質問用紙』の回答項目の割合。 ※R2は調査未実施のためデータなし ※R3,R4,R5は回答項目なし(削除)のためデータなし
		中学校3年生	%	73.0 (H30)	-	-	-	-	85.0	中学校	
20 家庭・地域と連携・協働した教育の推進	学校支援ボランティアの年間活動延べ人数 「学校は家庭や地域との連携に努めている」と評価した保護者(中学校は教員)の割合	学校支援ボランティア	人	4,102 (H30) 27人/日	1,925	2,310	2,527	3,233	6,100 35人/日	生涯学習班	学校支援として活動する各種ボランティアの活動延べ人数
		小学校	%	86.9	84	90	85	92	現状値以上	小学校	『学校評価アンケート』において、「学校は、教育活動に地域の人材や素材を積極的に取り入れるなど、地域と連携している。」の問いの肯定割合
		中学校教員	%	-	64	88	94	82	R2末評価値以上	中学校	『学校評価アンケート』(教師)において、「コミュニティ・スクールのよさを生かし、教育活動に地域の人材や素材を積極的に取り入れている。」の問いの肯定割合

【基本目標Ⅵ】 生涯学習活動の支援と芸術・文化、運動・スポーツの推進

重点施策	施策指標	基準	単位	R1 現状	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標	担当	備考
21 生涯学習推進体制の強化	生涯学習活動団体として登録し、自主グループ、サークル等で公民館を利用している年間利用者数	年間利用者	人	5,068	3,469	4,290	5,147	3,935	現状またはそれ以上	生涯学習班	公民館における入館者数、自主グループ、サークル等への年間利用者数
22 芸術文化の振興と伝統文化の継承	歴史民俗資料館及び主催事業への年間利用者数	年間利用者	人	7,233	3,086	6,748	4,784	2,649	現状またはそれ以上	生涯学習班	歴史民俗資料館における入館者数、各種講座・イベント等への年間利用者数
23 運動・スポーツに親しみ「健幸長寿のまちづくり」推進と障がい者スポーツの啓発と理解	スポーツ教室に参加する年間延べ人数	年間利用者	人	3,676	1,932	2,596	3,141	1,941	現状値以上の人数	生涯学習班	教育委員会が陸沢ふれあいスポーツクラブに委託したスポーツ教室への参加する延べ人数
	高齢者運動教室開催の回数	開催数	回	-	0	0	0	0	R2実施回数以上	生涯学習班	教育委員会が主管する65歳以上の町民対象の運動教室の開催数

【基本目標 I】 園小中一貫教育カリキュラムの実施と確かな学力・自立する力の育成

評価(4:十分達成、3:概ね達成、2:やや不十分、1:不十分)

重点施策	施策の方向性	委員会 評価	外部委員 評価	施策の評価
1 一人一人の基礎学力の向上を図る教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇小・中学校において、児童生徒一人一人の学力向上、学習意欲の向上を目指す教育を推進する。 ◇0歳から義務教育終了までの15年間にわたって、連続性・系統性等の一貫性のある睦沢町園小中一貫教育を推進する。 ◇児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導を充実する。 ◇学習指導要領に基づく教育課程の着実な実施とともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、日々の授業改善を図り、児童生徒に思考力・判断力・表現力等々を含めた真の学ぶ力を身につけさせる。 	2.2	2.5	<ul style="list-style-type: none"> ◇小中学校の校長・教頭・教務主任による会議を開催し、一貫教育のカリキュラムの検討を図った。 ◇学校からの要望でもある町採用の学習支援員及び特別支援教育支援員の配置を継続し、支援が必要な児童生徒に対してきめ細かな指導を行った。
2 自ら学び、ともに学び、生きて働く学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ◇児童生徒の質の高い知識・技能、思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度の育成の重点化を図る。 ◇小中学校における情報活用能力の育成を図る取組を推進する。 ◇発達段階に応じた主権者教育に取り組ませる。 ◇家庭・地域・学校における子どもたちの読書活動を積極的に推進する。 	3.2	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ◇主体的・対話的で深い学びに関する研修や授業研修を行っている教職員数を把握し、すべての職員が取り組むようにしている。 ◇小中学校では人間力と社会力を身に付ける取り組みとして、良好な生活環境を維持したり、地域の課題の解決のため、自分たちに何ができるかを考えたり、自分の考えを伝える力を養う学習をしている。
3 伝統文化を尊重し、郷土への愛着と誇りを持ち、グローバル化に対応する教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇伝統と文化を尊重し、我が国と郷土睦沢を愛する態度を養う。とりわけ「地域教材」に視点をあてた教育に取り組む。 ◇グローバル化の進展に対応する力を育む教育を推進するとともに、園小中学校における外国語教育を充実する。 ◇帰国・外国人児童生徒等の受入や共生のための教育支援および教育環境の整備を図る。 	2.8	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇園、小中学校にALTをの配置を継続し、低年齢から外国語に親しむ園児・児童生徒の育成を図っている。 ◇児童生徒の学習意欲の向上を図るため、英検の検定料の補助を中学生の外、小学生5,6年生に行っている。 ◇鮭の稚魚の放流事業を後援している。
4 キャリア教育・職業教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇学校において、家庭や地域・企業と連携・協力して小学校段階から教育活動全体を通して、体系的・系統的なキャリア教育を推進する。 ◇働くことについて関心や意欲が持てるように、学校・地域・企業が一体となって、実際の現場での見学や体験活動を推進する。 	3.6	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇中学校でキャリア教育を推進し、職業に対する知識を深め、勤労の尊さを考えるきっかけとした。
5 技術革新に対応する教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇コミュニケーション能力、問題発見・解決能力、情報活用能力を育成する教育に取り組む。 ◇児童生徒の科学技術や理科、算数・数学、ものづくりに対する興味・関心を高め、基礎的素養や論理的・科学的に考える力を育成する教育を進める。 ◇児童生徒の質の高い知識・技能や思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度の育成に努める。 	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇早期に校務支援システムを導入して、学校教職員の負担の軽減を図っている。
6 人格形成の基礎を培う幼児教育、保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇睦沢こども園は、家庭・地域と連携・協力した経営を推進するとともに、保育教諭に対する研修を充実し資質の向上を図る。 ◇睦沢こども園と小学校の円滑な接続を図り、子どもの発達や学びの連続性を視野に入れた幼児教育を充実する。 ◇睦沢こども園を活用した子育て支援の充実に努める。 	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇園だよりや園長通信などの情報発信や保護者アンケートなどの情報収集や地域の支援ボランティアと一緒に行事を実施して連携を図った。 ◇各クラス1回以上の園内公開保育及び外部講師を招へいしての公開保育を実施した。 ◇アプローチ・カリキュラムの見直しや交流活動を実施した。

【基本目標Ⅱ】 郷土を愛し、豊かな心と健やかな体の育成

評価(4:十分達成、3:概ね達成、2:やや不十分、1:不十分)

重点施策	施策の方向性	委員会 評価	外部委員 評価	施策の評価
7 豊かな心を育む教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇千葉県教育委員会が作成した「道徳指導の手引き」に基づき、特別の教科道徳を要とし、各教科との関連を図りながら、学校教育活動全体を通じた道徳教育を推進する。 ◇子どもの豊かな情操や規範意識、自他の生命の尊重、他者への思いやり、また「人間力」「社会力」などを育むために、体験活動を推進する。 ◇児童生徒の社会的自立に向け、健全な生活習慣の取組を推進する。 ◇児童生徒が自ら読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を身に付けていけるよう、家庭・学校・地域における子どもたちの読書活動を推進する。 	3.8	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇全校道徳や道徳の授業参観など、地域や家庭との連携を進めている。 ◇学校支援ボランティアの協力により、小学校で稲作づくり体験の活動を実施している。 ◇町採用の図書司書を配置して図書室の環境を整え、またクラス担任と連携した読書活動を行っている。 ◇陸沢小スタンダード(学習規律)を徹底することに
8 いじめ防止対策の推進と生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇「陸沢町いじめ防止基本方針」のもと、児童生徒の人権感覚を育成するとともに、いじめ未然防止、早期発見、早期対応に向けた組織的に取組める体制を整える。また、いじめ問題の解決に向け、外部機関との連携強化を図るとともに、社会全体で取り組む気運を醸成する。 ◇特別の教科道徳を要とし、教科横断的に学びの場を設け、コミュニケーション能力の育成を図り、豊かな人間関係づくりのための教育を推進する。 ◇いじめや生徒指導上の問題に対応するため、教育相談活動を充実させる。 ◇関係機関や学校・家庭・地域が一体となって、いじめや非行・問題行動の防止や有害環境から子どもを守る体制を構築する。 	2.6	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇いじめ防止基本方針(町・学校)に基づき、その防止に対する意識の経緯を図っている。 ◇小中学校で「いじめ防止アンケート」を定期的に行い早期発見、早期解決に努めている。
9 人権を尊重した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇子どもたちが自他の生命を尊重し、主体的に人権問題について考え、自他の人権を尊重するための取組を推進する。 ◇様々な人権課題に対応した教育を充実する。 ◇関係機関と連携しながら、虐待の早期発見・早期対応に努める体制を構築する。 	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇発達の段階に応じて「自分の大切さと共に、他の人の大切さを認めること」ができるよう、人権教育を推進している。 ◇社会奉仕活動や自然体験活動など多様な体験交流活動の充実を図った。 ◇学校評価アンケートにて、友達と仲良く協力している等を設問し、肯定した回答の割合は95%以上。
10 健康(幸)の保持増進	<ul style="list-style-type: none"> ◇生涯にわたって健康(幸)な生活を送るために必要な力を育成するため、学校の教育活動全体を通じた体系的な保健教育を充実する。 ◇児童生徒の日常生活における食事についての正しい知識や、望ましい食習慣の形成のため、学校・家庭・地域が連携・協働して食育を推進する。 ◇性に関する問題行動や薬物乱用の防止など、学校保健に関する現代的課題に対応する教育を推進する。 ◇子どもの基本的な生活習慣の確立を推進する。 	2.8	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇こども園5歳児及び小中学生全学年を対象にフッ化物洗口を実施している(小学校は休止)。 ◇こども園3歳児から中学3年生までを対象に早寝早起き朝ご飯チェックを実施している。
11 体力の向上と学校体育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇園児・児童生徒の一人一人の実態に合った体力の向上を図る。 ◇学校が家庭や地域と連携して園児・児童生徒の生活習慣の改善や運動習慣の確立を図る。 ◇運動部活動の持続可能な運営体制を整える。 	2.0	2.5	<ul style="list-style-type: none"> ◇総合型地域スポーツクラブから中学生の部活動の指導者を派遣している。 ◇部活動の地域移行を推進し、県が示すスケジュール通りに進んでいる。 ◇小学校で遊・友スポーツランキングちば(県の児童生徒の体力向上と社会性の育成を目的とした事業)に取組み、体力向上に努めている。

【基本目標Ⅲ】 多様なニーズに対応した教育の推進

評価(4:十分達成、3:概ね達成、2:やや不十分、1:不十分)

重点施策	施策の方向性	委員会 評価	外部委員 評価	施策の評価
12 障がいのある子どもへの支援・指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇共生社会を目指し、園、小・中学校、特別支援学校、関係機関と連携しながら「多様な学び」の充実に取り組み、特別支援教育を推進する。 ◇特別な教育的支援を必要とする園児、児童生徒などについては、個々の障がい等に応じた指導や支援を、組織的かつ継続的に提供する体制を整える。 ◇障がいのある子どもたちの自立と社会参加を目的としたキャリア教育を充実する。 ◇障がいの有無にかかわらず、一人一人のニーズに合った支援を受けやすくするために、一人一人の成長を記録できるライフサポートファイルを活用する。 	3.2	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇こども園、小中学校で定期的に校内特別支援委員会を行っている。 ◇管理職全員が自園・自校の取組みを肯定的に評価している。
13 不登校児童・生徒への支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇児童生徒一人一人の状況に応じたきめ細かな教育相談ができる体制の充実を図る。 ◇中学生で急増する不登校の未然防止・早期対応に向けた小・中学校の円滑な接続を推進する。 ◇個々の不登校児童生徒の状況に応じた教育機会の確保に努める。 	2.4	2.5	<ul style="list-style-type: none"> ◇不登校を解消するため、スクールカウンセラー等の相談体制を充実させて環境を整える。 ◇不登校の児童生徒の教育機会を確保するため、民間団体等と連携して効果的な支援に取り組んでいる。 ◇小学校内に居場所を見出せない児童に対し、居場所を設置し、学級に戻れるように支援を行っている。
14 一人一人の状況に応じた支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会的・経済的背景などにより学力に課題のある子どもへの教育を支援する体制を構築する。 ◇児童生徒の抱える様々な課題に対しきめ細かな対応に努める。 ◇家庭教育に課題を抱える保護者を支援する環境づくりを支援する。 ◇帰国児童生徒や外国人児童生徒など、日本語指導が必要な児童生徒への教育を支援する。 	2.6	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇小学4年生から6年生はアフタースクール、中学1年生から3年生はむつざわアカデミーを毎週土曜日を実施し、基礎学力の向上のための学習支援を行った(小学生:国語・算数、中学生:数学・英語)。

【基本目標Ⅳ】 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

評価(4:十分達成、3:概ね達成、2:やや不十分、1:不十分)

重点施策	施策の方向性	委員会 評価	外部委員 評価	施策の評価
15 教職員の資質・能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◇若手や中堅・ベテラン教員などキャリアステージに応じた研修などを充実させる。 ◇教職に対する使命感や責任感を高め、児童生徒および地域や保護者から信頼される教職員を育成する観点から、研修体制の充実や評価等のあり方について検討する。 ◇児童生徒との信頼関係に基づく教育活動を推進し、言語環境を整え、子どもが生き生きと学べる学習環境づくりのため、体罰禁止やハラスメント防止を徹底する。 ◇心身の健康保持・増進など教職員への支援に取り組む。 	3.0	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ◇授業力の向上に重点的に取り組んでいる。 ◇校内授業研修の回数を増やして、相互参観で若手の育成にも努めた。
16 園小中一貫教育の推進と魅力ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◇学校における諸課題の解決に取り組むことができる学校の組織体制づくりを推進する。 ◇地域の住民や保護者等の運営への参画を促進する体制づくりに取り組む。 ◇学校運営や教育活動を改善するために、学校評価等の活用を十分図らせる。 	3.8	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇組織的・協働的に問題解決に取り組むため、必要な人材の確保を県教育委員会や町へ要望した。 ◇すべての園・小中学校で園・学校評価を複数の方法で公表している。
17 子供たちの安心・安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ◇発達段階にそった園児・児童生徒に危険を予測し回避する能力を身に付けさせる学習機会を設ける。 ◇学校の危機管理体制の整備・充実を図るとともに、教職員の危機管理能力の向上を図る手立てを講じる。 ◇家庭や地域、関係機関と連携・協働し、地域ぐるみの学校安全体制の整備を推進する。 	3.4	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ◇園児や児童生徒の安全と安心を確保するため、園及び学校安全に関する計画を検証と改善を行った。 ◇学校評価アンケートにおいて、安全教育の保護者評価の肯定割合は86%以上であった。
18 技術革新や情報化に対応する学習環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇より安全で快適な学習環境の整備に努める。 ◇学校図書館にある資料や教材の整理を推進する。 ◇わかりやすい授業の実施や事務の効率化などのために、学校のICT環境をより効率よく整備する。 ◇就学援助や奨学のための資金貸付など、修学支援を行う。 	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇GIGAスクール構想で、パソコンの及びWi-Fi環境を整備しICT教育の充実を図っている。 ◇令和2年度に小中学校のトイレの洋式化を実施した。 ◇小中学校教員が授業にICTを活用できる割合は100%となった。

【基本目標Ⅴ】 家庭・地域教育力の向上

評価(4:十分達成、3:概ね達成、2:やや不十分、1:不十分)

重点施策	施策の方向性	委員会 評価	外部委員 評価	施策の評価
19 家庭教育支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇家庭の教育力の向上を図るため、家庭教育に関する学習の機会を広く設け、社会全体で支援する。 ◇睦沢こども園や睦沢町立中央公民館などを活用して、子育て交流の場とするとともに、睦沢町の幼児教育交流センター的機能が果たせるよう充実に努める。 ◇ライフサポートファイルの活用を促進する。 ◇仕事と子育ての両立に向けた支援体制の環境を整備する。 ◇学校支援ボランティアの活動の充実を図るとともに、放課後や週末などの教育活動を支援する。 	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇園・小中学校の保護者を対象とした「家庭教育学級」を実施している。 ◇家庭教育の身近な課題を掘り起こして解決に向かうため、家庭教育支援チームを立ち上げている。
20 家庭・地域と連携・協働した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇町全体で教育に対する町民の理解を深め、気運を高めるため、「睦沢町教育の日」や「睦沢の教育を考える週間」を制定する。 ◇保護者と教職員が連携して進めるPTA活動を支援する。 ◇学校と地域の連携・協働に向けてコミュニティ・スクールを一貫教育校に取り入れ、「地域とともにある学校」を目指す取組を推進する。 ◇ボランティア活動の充実を図るとともに、放課後や週末などの子どもの居場所づくりに積極的に取り組む。 ◇青少年の健全育成の取組や青少年団体などの活動を支援する。 	3.2	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ◇睦沢小学校と睦沢中学校にコミュニティ・スクール制度を導入し、学校の課題に対して、様々な地域の力で支援している。 ◇学校支援ボランティアの募集を随時行い、人員確保に努めている。

【基本目標Ⅵ】生涯学習活動の支援と芸術・文化、運動・スポーツの推進

評価(4:十分達成、3:概ね達成、2:やや不十分、1:不十分)

重点施策	施策の方向性	委員会 評価	外部委員 評価	施策の評価
21 生涯学習推進体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◇新たな学びの機会をつくることやニーズに合った学習環境の提供などにより、町民の学びを支える。 ◇地域住民の学び合いを支える人材の育成や、住民が協働して学ぶ仕組みを工夫するなど学び合いを支える。 ◇一人一人が学びの成果を生かして活躍できるように支援する。 ◇障がい者の生涯を通じた学びを支援する。 ◇「地域の知の拠点」としての睦沢町立中央公民館内の図書室が利用し易いように環境を整え、読書意欲や学ぶ意欲を高める効果的、効率的な取組を検討する。 	3.8	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇図書室に学校教科書で紹介している「この本読もう」のコーナーを設置している。図書室便りを年5回発行し、おすすめの本の紹介・新しいコーナーの紹介など読書推進に力を入れた。 ◇令和2年度に図書除菌機を導入し、安心して利用できるようにしている。
22 芸術文化の振興と伝統文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> ◇住民の文化芸術活動への参加促進、発表の場の提供などに取り組む。 ◇町の文化芸術の拠点として、睦沢町立中央公民館・睦沢ゆうあい館・睦沢町立歴史民俗資料館など各種活動を充実する。 ◇子どもたちの文化芸術活動の充実に取り組む。 ◇町の貴重な財産である文化財を保護・活用し、後世に伝える。 	3.0	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ◇町外の小中学校も含めた校外学習に協力し、児童生徒の受け入れを積極的に行い、また出前授業も受け入れている。
23 運動・スポーツに親しみ「健幸長寿のまちづくり」推進と障がい者スポーツの啓発と理解	<ul style="list-style-type: none"> ◇町民が、それぞれの目的や関心に応じて、運動やスポーツに親しむことができるよう様々な運動・スポーツ、レクリエーション活動を推進する。 ◇これまでスポーツに関わりのなかった人も含めて、身近で気軽に運動やスポーツを楽しむ場や機会を提供し、町民の誰もが運動やスポーツに親しめる社会づくりを進める。 ◇総合型地域スポーツクラブである「睦沢ふれあいスポーツクラブ」の育成及び支援を図る。 	2.6	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ◇児童生徒の肥満解消と体力向上のため、スポーツ関連団体連携会議を定期的開催している。令和4年度は小中学校児童生徒を対象とした肥満解消プログラムの作成に取り組んだ。